

衛生対策及び飼養管理について

1 種豚群が衛生的に飼養されているか。

check

① ストール豚舎等の衛生管理

ストール豚舎の消毒及び種豚群(豚体)の水洗・消毒を実施しましょう。
ピッカーも含めきれいに洗いましょう。

② 分娩豚舎の衛生管理

分娩豚房および豚舎消毒をオールアウトごとに行いましょう。
ピッカー、保温箱、ヒーター、管理器具等も含め全て洗浄・消毒しましょう。
(外せるものは外して洗って、再装着)

③ 分娩舎に移動する前の妊娠母豚がきれいに水洗され、豚体消毒を実施されているか。

④ 種豚群全体の定期的な駆虫を実施しましょう。

⑤ 毎日、空間消毒を実施しましょう。

2 生産子豚が衛生的に飼養されているか

① 離乳舎、育成舎の衛生管理

オールアウトごとに豚舎消毒を実施しましょう。
ピッカー、等も含めきれいに洗いましょう。

② 肥育舎の衛生管理

オールアウトごとに豚舎消毒を実施しましょう。
ピッカー、等も含めきれいに洗いましょう。

③ 日齢及び週齢管理が徹底

繁殖部門に日齢遅れや発育不良の子豚が残っていないか。
病豚は隔離、予後不良であれば淘汰しているか。

日齢遅れや発育不良の豚は病気に感染している可能性が高いため農場の汚染源とな

④ 毎日空間消毒を実施しましょう。

3 管理者の衛生管理

① 手指・長靴・作業着の消毒および専用化

② 使用後の管理器具の消毒

③ 注射針の使用法(種豚のワクチン等や病畜の治療は1頭1針)

④ 薬品(ワクチン及び抗生剤等)の管理、使用時の注意が遵守されているか

⑤ ピッグフローにあわせた管理がされているか

例)種豚管理:分娩舎→種豚舎…逆はやらない

子豚管理:分娩舎→離乳舎→肥育舎…逆はやらない

4 馴致の徹底(自家候補、外部導入)

① 馴致豚舎で行いましょう。馴致豚舎がなければ、隔離できる場所を確保しましょう。

② 馴致期間(♀:2ヶ月以上、♂:3ヶ月以上)

PRRSワクチン等を使用している場合、2回目接種後1ヶ月間(♂は2ヶ月)は導入しない